

経営比較分析表（令和6年度決算）

群馬県 活川市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	47.63	17.49	100.00	2,013

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
72,090	240.27	300.04
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
12,553	5.37	2,337.62

グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】令和6年度全国平均

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率(%) [105.07]
経常収支比率は100%を下回っているが、営業損失が発生していることから、一般会計経入金に頼った経営となっている。
施設整備を推進しており、使用料収率は微増となっている。令和7年度に使用料改定を行ったが、今後も経営改善に向けた取組が必要である。

②累積欠損金比率(%) [63.54]
累積欠損金比率は100%を下回っているが、営業損失が発生していることから、一般会計経入金に頼った経営となっている。
施設整備を推進しているため、将来的には改善が見込まれる。

③流動比率(%) [50.90]
流動比率は100%を下回っているが、流動負債が生じている。
現在、施設整備を推進しているため、将来的には改善が見込まれる。

④企業債残高対事業規模比率(%) [1,099.15]
企業債残高対事業規模比率は100%を下回っているが、流動負債が生じている。
施設整備を推進しているため、継続して借入を行っているが、残高は減少傾向にある。

⑤経費回収率(%) [72.92]
経費回収率は100%を下回っている。
施設整備を推進していることから、接続件数は増加しており、有収水量が増えている。使用料収入は僅かに増加しているが、一般会計繰入金に依存している。

⑥汚水処理原価(円) [225.78]
汚水処理原価は100%を下回っている。
施設整備を推進していることから、接続件数は増加しており、有収水量が増えている。使用料収入は僅かに増加しているが、一般会計繰入金に依存している。

⑦施設利用率(%) [43.17]
施設利用率は100%を下回っている。
施設整備を推進しているため、年間有収水量が増加傾向となっている。今後、施設利用率は増加することが見込まれる。

⑧水洗化率(%) [86.31]
水洗化率は100%を下回っている。
施設整備を推進していることから、現年水洗便所設置済人口は増加、現在処理区域内人口も増加しており、今後も上昇が予想される。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率(%) [30.82]
有形固定資産減価償却率は100%を下回っているが、計画的な更新が必要となる。

②管渠老朽化率(%) [0.06]
管渠老朽化率は0.00%であるが、計画的な更新が必要となる。

③管渠改善率(%) [0.15]
管渠改善率は0.00%であるが、維持管理費削減や更新計画の策定に着手する必要がある。

全体総括

平成3年度に事業着手し、平成6年度に供用開始した事業で、旧市地域（活川地区）において新規管路設を推進している事業である。

最古施設が平成6年度供用開始であり、更新時期とはなっていないが、維持管理費削減や更新計画の策定に着手する必要がある。

下水道使用料では維持管理費が貯めていないことから、令和7年度に使用料改定を行ったが、今後も更なる使用料改定や経費削減等が必要な時期となっている。

少子高齢化、人口減少、高齢単身世帯の増加により、区域見直し以外の接続数の増加は見込めないことから、新興住宅地区などの区域見直しが必要である。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみの類似団体平均値及び全国平均を算出しています。